

8月7日 〆切

山口県知事あて署名のお願い

使用済み核燃料中間貯蔵施設を受け入れないで！

私たちグリーンコープやまぐち生活協同組合の組合員は、原発は「生命(いのち)・自然・くらし」を守るというグリーンコープの理念とは相容れないとして、脱原発を掲げ、様々な活動に取り組んできました。

2023年8月に上関町で使用済み核燃料中間貯蔵施設の計画が持ち上がり、私たちに衝撃を与えました。その後、専門家による講演や学習会などを重ね、到底受け入れることが出来ないと判断しました。

この計画は、上関町にとどまらず、県全体、瀬戸内全体の海や空を通じて影響し、さらには将来世代に関わる重要な問題です。

周辺市町である柳井市、田布施町、平生町、周防大島町で行われた住民アンケートでは74%が反対という結果でした。建設に関しては、山口県知事にも決定権限があり、「周辺市町の理解が大前提」と複数回にわたって発言しています。

このことから、一人でも多くの署名を届けることが建設計画の中止につながります。

みんなでたくさんの署名を集めましょう！

さらに私たちは山口県知事と上関町長に対し、使用済み核燃料中間貯蔵施設の受け入れを行わないよう求めるための要望書を提出します。

【署名のお願い】

- ・住所は番地まで正確にご記入ください(〇〇市〇〇町1-2-3など)
- ・同じ住所であっても「同上」等に略すと無効になります
- ・鉛筆や消せるペンは使用しないでください
- ・ご本人がご記入ください(代筆の場合は、ご本人の意思確認のうえでご記入ください)
- ・家族友人どなたでも署名できます
- ・この用紙をコピーして集めることも可能です
- ・欄が全部埋まらなくても提出してください
- ・ご記入いただいた個人情報は、本署名の目的以外には使用しません

【集約締め切り】 2026年8月7日(グリーンコープ注文書提出8月3日週)

【呼びかけ団体】 グリーンコープやまぐち生活協同組合

【賛同団体(順不同)】

一社)グリーンコープ共同体／グリーンコープ生協おかやま／グリーンコープ生協ふくしま／グリーンコープ生協みやぎ／グリーンコープ生協とっとり／グリーンコープ生協ひろしま／グリーンコープしがまる生協／グリーンコープ生協おおさか／グリーンコープ生協(島根)／グリーンコープ生協ひょうご／グリーンコープ生協さが
上関原発を建てさせない山口県民連絡会／上関原発いらんよね光・下松市民の会／原発いらん！山口ネットワーク／中間貯蔵施設を考えよう周南の会／いのち・未来 うべ／ヒューマンライツすずめの会／憲法9条の会うべ／憲法を活かす市民の会・やまぐち／平和をつむぐ会 ♣ 山口／山口被爆二世の会／反戦・反差別アジアの人々と共に行動する連絡会(NWAA)・首都圏／原発をつくらせない山口県民の会／上関の中間貯蔵を考える周防住民の会／上関の自然を守る会／連労労組・やまぐち／美しい錦川を未来へ手渡す会／やない平和を語る会／若狭の原発を考える会／原水爆禁止山口県協議会／NOWAR やまぐち／一社)瀬戸内伝統航海協会

山口県知事 村岡嗣政 様

私たちは、上関町への使用済み核燃料中間貯蔵施設の受け入れを行わないよう、強く要望いたします。

【理由】

1. 安全性に対する不安が解消されていないこと
- 使用済み核燃料は極めて高い放射能を持つ危険な物質であり、事故や災害時のみならず平時でも放射能の影響があります。安全性への不安は解消されておらず、受け入れの前提は成り立っていません。
2. 地域社会の分断とコミュニティの崩壊
- 原子力施設をめぐっては各地で住民の対立や分断が生じてきました。本件においても、賛否による意見の対立や不信が地域内外で生じており、コミュニティの維持に影響を及ぼしています。
3. 広域的影響と将来世代への責任
- 本施設の影響は上関町にとどまらず周辺地域、瀬戸内海沿岸にも及びます。また、将来にわたり責任を負う主体が明確でないまま、将来世代に負担とリスクを残すことになります。

以上の理由から、私たちは上関町への使用済み核燃料中間貯蔵施設の受け入れを行わないよう、強く要望いたします。

氏名	住所（市町村から番地まで・同上無効）

【集約締め切り】 2026 年 8 月 7 日 / 8 月 17 日必着

【送付先】 グリーンコープやまぐち生活協同組合 周南地域本部 組合員事務局

〒745-0802 山口県周南市栗屋 3 3 2 - 8 / b0kmje1@greencoop.or.jp / 0834-34-9550